

令和6年度 大田区立北糺谷小学校 自己評価 報告書

令和7年2月18日

○ 本校の概要

○開校148周年を迎えた歴史のある学校である。学校規模は児童数291人(9月1日現在)、通常級は12学級で聴・言語障害学級を併設している。この数年、学区域外からの入学者が増加して2学級を保っている。
○平成30・31年度に東京都プログラミング教育推進校、令和元・2年度は大田区家庭学習研究推進校、令和2・3年度は大田区キャリア教育研究推進校として研究発表をした。令和5・6年度、再び大田区教育研究推進校としてキャリア教育の研究を進めている。また、文部省国立教育研究所実践検証協力校としての役割を担っている。「主体的に取り組む児童の育成」を目指したキャリア教育の実践は、昨年度、文部科学大臣表彰を受賞した。また、キャリア教育や学校行事の実践は、東京都の代表として全国大会でも発表している。
○学校の課題は「主体的に学びに取り組む力の育成」、「発達障がいや不登校など配慮を要する児童への対応」である。研究テーマを「主体的に取り組む児童の育成～キャリア教育の実践と評価～」として、「これまでと今を、これからにつなげる」魅力ある教育活動を創出していく。今年度も、高学年は教科担任制を実施し質の高い授業を目指す。通知表の評価を年間2回とし、次につながる評価のあり方についても追究する。配慮を要する児童への対応は、校内委員会を中心として関係機関と連携して組織的な対応に努めている。
○地域や保護者は学校に大変協力しており、地域の人材や設備を活用した様々な教育活動を展開している。〈含言葉は〉「行きたい学校」掲げたい家庭、住みたい地域」今年度もコミュニティスクールとして、一層連携を深めている。

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

大項目	方向性	取組内容	取組指標	取組評価	目標に対する成果指標	成果評価	これまでの取組 今後の改善策	学校関係者記入欄	
								評価	コメント
生予個 き測 る因 力難 標を な1 育未 成来 し社 会を 創 造 的 に	社会の様々な課題を自分事として捉え、主体的に考え、他者と協働する力や、他者と協働していく力、問題解決していく意欲や、予測困難な未来社会を切り拓いていくために重要な創造力や課題解決力、情報活用能力を育成します。	①STEAM教育等の教科等横断的な学びや科学教育を推進し、課題解決力や新たな価値を創造する力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。	4	は、考えながらものづくりをしたり、プログラミングをしたりすることが好きです。の質問に対し「あてはまる」または「だいたいあてはまる」と回答した児童の割合が	4:90%以上 3:80%以上90%未満 2:70%以上80%未満 1:70%未満	・おおたの未来づくり科に向けて、各学年の学習内容を系統立て、キャリア教育年間指導計画を作成するとともに、12月末に本校独自の行事「未来づくりフェスティバル」を行うことにより、児童の学習の成果を発表する場を設けている。	A	10
		②学校内外での様々な体験活動や自己評価する習慣づくりを推進し、自ら考え判断する力や、他者と協働していく力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。	4	保護者アンケート「学校は、キャリア教育やプログラミング教育など、未来社会に生きる子どもたちに必要な教育だと思います」の質問に対し「あてはまる」または「だいたいあてはまる」は	4:90%以上 3:80%以上90%未満 2:70%以上80%未満 1:70%未満	・教科横断的な学習を意識したキャリア学習マネジメントを行い、年間指導計画を作成して実施している。	B	1
		③情報技術を適切に活用した授業の実施を通して、情報活用能力の育成を図っている。	3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4:90%以上 3:80%以上90%未満 2:70%以上80%未満 1:70%未満	・おおたの未来づくり科やその他の学習において地域の方に協力していただき、主体的に学習を進められる場面を設けている。教師はファシリテーターとしての役割を意識し、児童の発意発想を生かすことができるように問いかけを進めている。	C	0
		④特別活動を要にキャリア教育を推進し、主体的に考え、他者と協働し、問題解決していく意欲や実践力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4	※2つの項目の平均を成果評価とする	4:90%以上 3:80%以上90%未満 2:70%以上80%未満 1:70%未満		D	1
お世 界 と 目 を つ 標 担 な 2 う が 人 材 を 際 育 都 成 市 し ま す	英語での実践的なコミュニケーション能力を高めるとともに、我が国や郷土の伝統文化に鑑み、尊重する心や、協力していく態度を育成します。また、国際社会・地域社会に関心をもち、持続可能な社会を形成していく態度を形成します。	①外国語教育指導員の活用などにより、英語に慣れ親しむながら会話をする機会を増やし、英語力やコミュニケーション能力の向上、豊かな国際感覚の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4	児童アンケート「わたしは英語を使ってALTや先生、友達、あいさつや歌・ゲームなどをしてコミュニケーションを取ろうとしています」の質問に対し「あてはまる」または「だいたいあてはまる」は	4:80%以上 3:70%以上80%未満 2:60%以上70%未満 1:60%未満	・ALTは1年間の中で、低学年に8時間、中学年に25時間、高学年に60時間配置されている。文化背景の違いを尊重し、異文化理解を深めようとする。また、本校では、中休みと昼休みの間に、ALTが来校するときは英語力アップを行っている。EFLとカードゲームやクイズなどの活動を通して、英語にたのしみ親しむようにしている。	A	9
		②我が国や郷土の伝統や文化の学習、人権教育を推進し、自分とは異なる文化や価値観をもつ相手を理解し、互いに尊重し合う心の育成を図っている。	3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3	児童アンケート「わたしは英語を使ってALTや先生、友達、あいさつや歌・ゲームなどをしてコミュニケーションを取ろうとしています」の質問に対し「あてはまる」または「だいたいあてはまる」は	4:80%以上 3:70%以上80%未満 2:60%以上70%未満 1:60%未満	・本校では、高学年の1年間の英語学習のまとめとしてTGGに行っている。異文化理解を深めるとともに、英語を使ってコミュニケーションを取る楽しさや達成感を味わうことができるようにしている。	B	2
		③現代社会における地球規模の課題を自分事として捉え、その解決に向けて考え、行動する力の育成を図っている。	3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3		4:80%以上 3:70%以上80%未満 2:60%以上70%未満 1:60%未満		C	0
								D	1
た一 個 め 人 の 目 基 と 標 礎 り 3 と が な る 性 力 と を 能 育 力 成 を し 発 揮 す る	児童・生徒が豊かな人生を送る上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、健やかな体を育成します。また、乳幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	①道徳科を中心とした各教科等での学習などを通じて継続的に道徳教育を実施し、豊かな情操や道徳心の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4	児童アンケート「わたしは授業の内容がよくわかります」の質問に対し「あてはまる」または「だいたいあてはまる」は	4:90%以上 3:80%以上90%未満 2:70%以上80%未満 1:70%未満	・道徳授業地区公開講座では、校内統一テーマで道徳授業を公開したり外部講師を招いてテーマに沿った保護者向けの講演を行うなどして、家と連携して豊かな情操や道徳心の育成を図っている。今後も多方向から情報を集め、様々なニーズに対応した講師の発掘に努めたい。	A	11
		②学習習熟度に応じた指導や個に応じた学習支援、各種検定の実施を通して、すべての子どもに確かな学力の育成を図っている。	3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4		4:90%以上 3:80%以上90%未満 2:70%以上80%未満 1:70%未満	・低学年は保育園・幼稚園との交流行ったり、体育健康教育講座では体づくりの運動を実践したりと、外部との連携を図って知・体・心の育成に努めている。また、幼稚園と保育園それぞれと交流をしており、幼保連携をより意識して活動している。	B	1
		③体育や保健体育の授業など様々な機会を通して、健康教育や食育を推進し、基本的な生活習慣の確立を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4	保護者アンケート「学校は確かな学力をつけるために、わかりやすく指導しています」の質問に対し「あてはまる」または「だいたいあてはまる」は	4:90%以上 3:80%以上90%未満 2:70%以上80%未満 1:70%未満	・体育健康教育講座では、日本コナリー・ジョイントトレーニング協会の方を招き、感性・知性の発達を目的とした運動の仕方を全学年学年で行っている。 ・高学年では教科担任制を行い、専門性を生かした授業を行うことができており、授業の質を高めることができています。また、今年度は中学年で高学年の授業は教科担任制であり、担任の先生方が授業準備をする時間が多くとれている。	C	0
		④乳幼児期から中学校まで円滑な接続を行うため、保幼小の連携や小中一貫の視点に立った教育を行っている。	3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3	※2つの項目の平均を成果評価とする	4:90%以上 3:80%以上90%未満 2:70%以上80%未満 1:70%未満	・6年生は、3学期に薬物乱用防止教室を行い、命の大切さ、人生を楽しく過ごすために心がなければならないことを学んでいる。その成果もあり、児童一人一人が日々の生活を大切にしようとする姿勢は育ってきている。	D	0
一 人 一 人 の 目 基 と 標 礎 り 3 と が な る 性 力 と を 能 育 力 成 を し 発 揮 す る	児童・生徒が豊かな人生を送る上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、健やかな体を育成します。また、乳幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	⑤読書活動をキャリア教育に位置付けて推進し、豊かなこころの育成を図っている。	3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4		4:90%以上 3:80%以上90%未満 2:70%以上80%未満 1:70%未満	・6月、10月に読書週間を設け、図書委員会による企画や朝読書などを実施している。		

